

アイエス通信もおかげさまでとうとう第50号まで発行することが出来ました。今月は神谷が担当します。

前回の東京オリンピックのチケット落選に引き続き、パラリンピックのチケットも落選してしまいました。せっかくの日本開催なのに私と同じように多くの方はチケットを購入できなかったのでしょうか。（悲）

<オートモーティブワールド クルマの先端技術展に行ってきました！>

少し前の話にはなりますが、オートモーティブワールド クルマの先端技術展に今後の業界動向など勉強をかねて見学に行ってきました。会場は名古屋のポートメッセでレゴランドのすぐそばでした。

カーエレクトロニクス技術や、EV 技術、クルマの軽量化技術など今後のクルマの未来を支える技術展でした。個人的に自動車メーカーの出展がないのは、さびしい感じはしますが、会場内には大手自動車メーカーの名詞を首から掛けた方々が熱心に出展メーカーの説明を聞いていたのが印象的でした。

数々の展示のなかで個人的に気になったものを以下に紹介したいと思います。

株式会社ファソテック…世界初!!カーボンファイバー 3D プリンター



長繊維カーボンファイバーと同時にオニキス (Onyx) と呼ばれるマイクロカーボン含有のナイロンフィラメントを使用して造形することにより金属並みの強度を持ちつつ軽量の造形品を作ることが可能となっています。

通常の 3D プリンターでは形状や構造確認などがメインで強度が無く実際に使用に耐えられるものはありませんでした。また金属の 3D プリンターでは導入費用を含めたコストも高かったのが最終製品として使用できる造形品ということに非常にみりょくを感じました。実際、一部のスペシャリティカーにはこういった製品が使用されているそうです。

<https://www.fasotec.co.jp/product/marktwo-x7/>

堀正工業株式会社…原料に麻を用いたバイオプラスチック射出成形用ペレット

堀正工業株式会社様はベアリングを主に扱う総合商社様になりますが、展示内容は射出成形用バイオプラスチックペレットがメインでした。産業用麻の繊維を利用した各国各社の材料の取り扱いがありましたが、現在最も利用が進んでいるのは麻と熱可塑性樹脂の複合不織布でした。現在は大手自動車メーカーのドアパネルなどに利用されているそうです。その他不織布を使った建材、家具なども作製されているようです。

その他、麻繊維と PP がおよそ半々からなる射出成形用ペレットでの成形品が展示されておりましたが、こちらのほうはまだ使用実績は少ないようです。既存の金型をそのまま利用してテスト成形できるようですのでご興味のある方はアポイントを取ってみたいかがでしょうか？

<http://www.horimasa.co.jp/product/bioplastics/index.html>



株式会社 IS DESIGN アイエス通信編集部 発行日 2019 年 11 月 6 日 発行人 池田英樹

〒581-0816 大阪府八尾市佐堂町 2 丁目 3-15 久宝ビル 301 TEL:072-929-1336 FAX:072-929-1338

Email:h. ikeda@is-design.net URL: <http://www.is-design.net>

Copyright (c) 2014 株式会社 IS DESIGN all rights reserved